



## 出会いを大切に

埼玉県立鳩ヶ谷高等学校長 井上 一也

31期生の皆さん、卒業おめでとうございます。私は君たちと1年間、鳩ヶ谷高校で過ごしました。君たちとの出会いは私にとって大切な人生の宝物となっています。コロナ禍で1年以上通常の学校生活を送れず、3年生として高校最後の思い出となるはずであった部活動の大会や発表の場がなくなり、学校行事でも文化祭をはじめとした多くの行事が中止や制限されました。そのような中でも日程を変更して行われた体育祭での楽しそうな笑顔やロードレース大会で苦しくても走り切る姿は強く印象に残っています。また、進路実現のために何回も面接練習をしたり、教室で遅くまで勉強していた生徒諸君の頑張る姿にエールを送っていました。

人生には、多くの出会いや別れがあります。必ず別れが来るからこそ、出会いを大切に生きて欲しいと思います。人と人が出会うのは、偶然かも知れませんが、そこには必ず必然が存在します。人は、出会うべくして出会っているのだと思っています。世の中にはいろいろな人がいます。それぞれ価値観も多様です。高校を卒業し、社会に出たり、進学したりすると多様な価値観をもった人達と一緒に仕事をしたり学んだりして行かなくてはなりません。いろいろな人達と関わることにより、人生を学んでいくこととなります。その時、心がけて欲しいことは、「自分の人生は、自分で考え、自分で決めていく」と言うことです。

人生は、なかなか自分の思うようにはいきません。つらいときも、苦しい時もある。でも、だからといって、人生をあきらめてしまうわけにはいきません。なかなか実感することは難しいですが、人生は一回きりしかないので。だとしたら、どんな困難な状況、困難な時代にあっても、前を向いて歩いていくしかありません。そのときに、必要となるのが「自分で考える」ことであり、それをもとにした「決断」なのです。

絆という言葉が、よく使われます。その意味するところは何か。

「絆」というのは、もともとは、牛や馬をつないでおく綱のことだったそうです。牛の鼻に輪がついていて、そこに紐が結びつけてある。あの紐のことを「絆」と言っていました。その紐を人間が引っ張ってリードしていました。

大事なのは、その紐を持ってリードする人間。いい道へ導いてあげる人がいて、その人に導いてもらう。

本来の人間の「絆」というのは、自分をいい方向に導いてくれる人がいて、導いてもらう。それで、その人に感謝するから「絆」が生まれていくということです。

良い人との出会い、自分を良い方向へ導いてくれる人との出会いが人生を豊かにしてくれます。そのためには、やはり、自分がしっかり生きること、あらゆるものに感謝をしながら生きることが大切です。

卒業していく皆さんは、鳩ヶ谷高校でそんな絆を掴んでくれたのではないかと思います。

鳩ヶ谷高校の先生方に出会い、良い方向に導いてもらって、君たちの今がある。それに感謝することで君たちと先生方の一生涯の「師弟の絆」が生まれたと思います。

卒業おめでとう。君たちの活躍を楽しみにしています。